

じどうしつだより No. 74 (2011. 1発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p>『ケープドリ あらしのまき』</p> <p>ワウター・ヴァン・レーク作 野坂悦子訳 朔北社 2010.9</p> <p>1110049538</p>	<p>すごい雨の日。あたたかい家でのんびりしたいケープドリは、ストーブをたくためのたきぎを犬のツングステンにとってきてくれるようたのみます。お茶をいれてまつケープドリ。しかし、ツングステンはなかなか帰ってきません。しんぱいになったケープドリは、ツングステンになにかあったときのために、どうぐをせなかいっぱいにせおって、さがしに行きます。</p>
<p>『どろんこのおともだち』</p> <p>バーバラ・マクリントック作 福本友美子訳 ほるぷ出版 2010.10</p> <p>1110074450</p>	<p>シャーロットは外遊びが大好きな女の子。エズメおばさんから贈られたフリフリのドレスを着たお人形を外に連れだし、泥んこケーキを作ったり、釣りやワゴン競争をしたり、木登りも…。木から落ちてぼろぼろになったお人形をシャーロットはお風呂に入れ、包帯をまいて寝かせます。夕飯にはエズメおばさんがやってきます。このお人形を見せたらおばさんはおこるかな？</p>
<p>『ふしぎなボタン』</p> <p>ミルヤ・オルヴォラ文 サッラ・サヴォライネン絵 稲垣美晴訳 猫の言葉社 2010.9</p> <p>1110075224</p>	<p>むかし、プアンという名のボタン職人がいました。心をこめてすばらしいボタンを作りましたが、作るのに時間がかかり貧乏でした。ある日、王様がプアンの住む村にやってきて、プアンの作るボタンに興味を持ちました。仕事場をたずねてきた王様に、プアンは美しいボタンを贈りました。王様は、そのボタンを王女に渡しました。彼女の結婚式で、使うことにしたのですが…。</p>
<p>『まるまるまるのほん』</p> <p>エルヴェ・テュレサク たにかわしゅんたろうやく ポプラ社 2010.6</p> <p>1110056040</p>	<p>きいろいまるをおして、つぎへいこう。ふたつになったね。じゃ、もういちど、きいろいまるをおしてみると…みつつになったね。こんどは、ひだりのきいろいまるを、ゆびでそうっとこすると…あかくなった！本にかかれたとおりに、まるをおしたりこすったり、本をゆすったりしてページをめくると、本のなかのまるがうごいてる！おもちゃ感覚で遊ぶことができる新しいタイプの絵本です。</p>
<p>『ローズのにわ』</p> <p>ピーター・レイノルズ作 かとうりつこ訳 主婦の友社 2010.11</p> <p>1110061757</p>	<p>ローズは、ティーポットにのって旅にでて、いろいろな花のたねをあつめました。海のむこうの大きなまちの、あるさびしい場所にそのたねをまこうと思いましたが、たねはとりに食べられてしまいました。わずかにのこったたねをまいて、めがでるのをずっとまちつづけるローズですが、きせつがかわってもめはでません。あるひ、小さな女の子がやってきて、紙でつくった花をくれて…。</p>
<p>『わたしのとくべつな場所』</p> <p>パトリシア・マキサック文 ジェリー・ピンクニー絵 新日本出版社 2010.9</p> <p>1110058671</p>	<p>1950年代のアメリカ南部。黒人の少女パトリシアは、「あの場所」にひとりで行ってみることにしました。バスでは後の方にある黒人専用席に座らなければならず、公園で一休みしようとする、ベンチには「白人専用」と書いてあります。黒人は入れないホテルの前で、人波に押されてロビーに入ってしまったパトリシア。果たして、「あの場所」にたどり着けるのでしょうか。そして、「あの場所」とは…？</p>